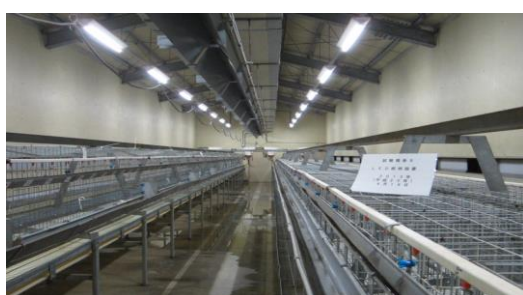


採卵鶏舎へのLED照明の活用

ウインドウレス採卵鶏舎の照明を蛍光灯からLED照明に変えることで、照明に必要な電力使用量の85%を削減できることが明らかになりました。

また、LED照明に変えても、採卵鶏の生存率、産卵率、卵重、卵殻質に影響は認められませんでした。

蛍光灯をLED照明に変えるための初期費用は2年間で償却できます。蛍光灯は約1年2か月おきに交換が必要となりますが、LEDは設置から約9年間は明るさが変わらないことから交換の手間も省け、非常に経済的です。

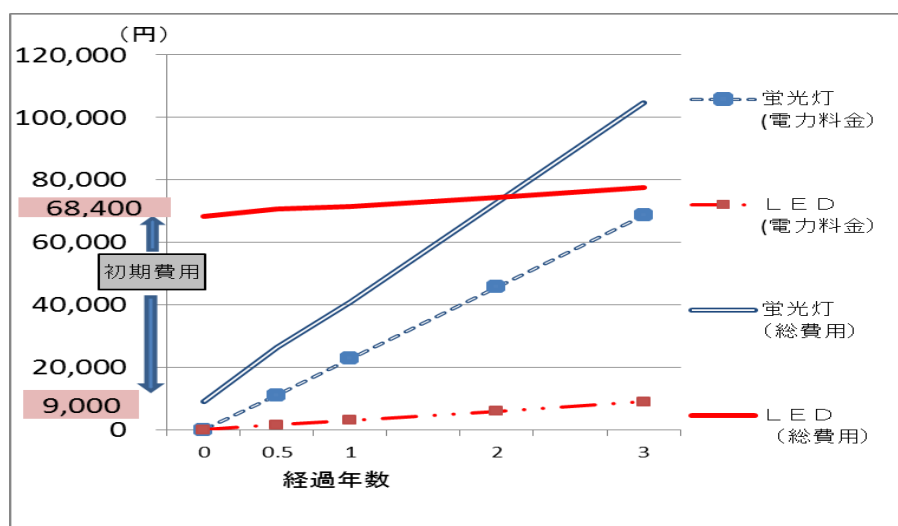


LED照明を設置したウインドウレス鶏舎

区分	産卵率 %	平均卵重 g	産卵日量 g/日・羽	飼料摂取量 g/日・羽	飼料要求率
蛍光灯区	92.3	59.7	55.2	112.6	2.06
LED区	94.3	59.8	56.5	115.2	2.06

各項目で区間に有意差なし

照明の違いで産卵成績に差はありません



800羽収容の鶏舎で蛍光灯とLEDをそれぞれ18本ずつ交換した時の初期費用は、LED区が59,400円余計にかかります。しかし、2年を経過すると消費電力と初期費用の合計(総費用)が、蛍光灯区を下回り、年数が経過するにつれ、照明にかかる費用の削減効果が高まります。